

**\*「ワイン研究会」の第八回例会は9月19日(金)に開催されました。**

日時 平成26年9月19日 15時—17時

場所 カフェ「カサグランデ」(西武多摩湖線一橋学園駅傍)

出席者 荒木、井垣、伊藤(順)、伊藤(徹)、大島、国友、竹内、富平、野村、馬場、山本、横田 以上12名(敬称略)



まずはスパークリングワインで乾杯！

\* 前回初参加の国友さん、竹内さんがワイン持参で連続参加、加えて富平茂(50・理工卒)さんが「荒木さんの強烈なセールストークに負けました」と初参加して今回の参加者は12名。すっかり係になった感のある伊藤(徹)さん持参のスパークリングワインを、これまた開栓係(?)の山本さんが勢よく開けて会が始まりました。

\* 今回持ち寄りのワインは、前回からの持ち越し分を含めて計13本と出席者数を上回る勢い。フランス・ボルドー(3種)、日本(3)、イタリア、スペイン、オーストラリア、チリ産などなど赤・白・ロゼと色とりどりのボトルがテーブルに並んで国際色豊か。



飲み干された10本の空瓶。左端「箱ワイン」

\* 今日の口あけはイタリアの「エスト！エスト!!エスト!!!ディ・モンテフィアスコーネ」白ワイン。この珍しい名前の由来となる12世紀以来幾世紀にも亘って伝えられてきた物語を山本さんが紹介。

\* 次の手を挙げたのが荒木さん。持ち込みワインが足りなかったらいけないと会の基金で用意したチョッピリ高い(?)国産ワインを味わう。



エスト！エスト！！エスト！！！！



大枚3,000円のメルシャンワイン

\* ワインの基本の基を確認する「ワイキキタイム」の今回のテーマは「ロゼワインはなぜピンク色なのか?」「ロゼは何時飲むのか?」などロゼの製法などを勉強。ただ、前回のワイキキタイムでの質問者・栗原さん本日欠席で残念！

そして同じく前回に勉強した「ワインは何故健康に良いのか?」で、「フレンチ・パラドックス」と言われた赤ワインに含まれる成分・ポリフェノールが健康に良いとされて赤ワインブームを興した研究発表が、実はその後否定されていたという文芸春秋10月号の記事が紹介された。でも、「ワインは健康のために飲むのではなく楽しむために飲むものである」という原点を確認！



真面目にワイキキタイム



ピンク色のロゼワイン

\* 次いで登場が「ムートン・カデ・ルウジュ」。竹内さんから「ムートンは羊、カデは弟。この名前が生まれた1930年はボルドー地区のぶどうが不作だったそうです、まるで私みたいに――」というので「1930年は私が生まれた年だよ――」と山本さん。

\* 今回初登場したのがオーストラリアの「箱ワイン」。ボトルワインを見なれた目には「えっ！これワイン？」の声も。中に空気が入らない構造の蛇口に興味深々。「NOTワインのイメージなのか、スーパーの売り場では棚の一番下に置かれてるよ」と大島さん。

\* 「我が家では娘が白ワイン派。赤が残って――」と富平さん。かくして賑やかに語らいながらワインを次々と味わっていき、結局10本のワインを空に。



ムートンというのは・・・竹内さん



オーストラリアの箱ワインを・・・大島さん



娘が白ワイン派で・・・富平さん

\* アツという間の2時間。最後はコーヒーを飲みながら会の感想など述べ合い次回の例会・ワイナリーツアーを楽しみにしてお開きに。

\* ワインの勢いを借りて今やワイン研第二部となった感のあるカラオケタイム。野村カラオケの会会長を先頭に7名の有志が近くの店へ繰り出して自慢ののどを競いあいました。

\* 10月例会は「勝沼ブドウ郷」へのワイナリーツアー、11月例会 11月21日(金)於カサグランデは「ボジョレ・ヌーボー」解禁日の翌日に当たるため、14年産ワインをたっぷり味わいます。お楽しみに!

「カサグランデ」での例会会費は1,500円＋任意のワンコイン寄付。ワインを楽しみたい方、どなたでも歓迎。手ぶらでご参加ください。準備の都合あり、出来るだけ早目に井垣(090-1196-1471)まで申し込みを！

(文 井垣 写真 荒木)